

2021年8月6日

第61回全国国公立大学卓球大会参加者の皆さんへ

国公立大学卓球連盟  
理事長 長内 進

### 第61回全国国公立大学卓球大会の中止について

第61回全国国公立大学卓球大会（日程：8月23日～26日、会場：ジップアリーナ岡山）については、国公立大学卓球連盟と主管校の広島大学が連携して開催に向けて鋭意努力してまいりましたが、下記に記載しました「開催決定通達以降の情勢変化」を踏まえることにより、連盟と広島大学とで再三協議しました結果、「第61回大会の中止理由」の記載内容に基づき、現時点よりも大会期間中においてさらなる新型コロナウイルス感染の拡大・悪化が全国的規模で進展することなどを想定しまして、断腸の思いですが、中止するという苦渋の結論に至りました。

一度は開催するという決定を7月18日に通達して皆さんを混乱させてしまい、お詫び申し上げますとともに、皆さんの新型コロナウイルス対策を徹底しての並々ならぬ参加意欲を一瞬に消滅させてしまい、誠に申し訳なく思っている次第です。

しかしながら、当初の大会要項に掲げた中止判断基準の原点に立ち返り、皆さんの安心・安全の確保を第一に考えたいという一念に基づく再判断結果になりますので、どうかご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、連盟としましては、広島大学の協力のもとに全ての大学を対象にして、事前に支払っていただきました参加費の全額を別途返金する予定ですが、ホテルや移動手段のキャンセル費用までの負担はご容赦いただければと思っていますので、重ねてご理解をよろしくお願い致します。

また、第61回大会の延期開催は考えておらず、第62回大会については大阪大学が主管校となり、2022年8月中旬または下旬頃に開催する予定で、候補体育館を現在選定中ですので、併せてご連絡申し上げます。

#### <開催決定通達以降の情勢変化>

- 緊急事態宣言の対象拡大と適用期間の延長
  - ・東京都と沖縄県にさらに大阪府、神奈川県、埼玉県、千葉県を追加。
  - ・東京都他の適用期間が8月22日から8月31日までと大会期間中を含む期間まで延長。
- 最近の新型コロナウイルス動向の悪化
  - ・新規感染者が多く都府県で過去最多。
  - ・ワクチン接種率の低い20歳代の感染者が増大。
- 新型コロナウイルス対応の最新情報
  - ・全国知事会が当面の都道府県境またぐ旅行・帰省は原則中止を提言。
  - ・福岡県が政府に緊急事態宣言を要請予定。
  - ・政府がまん延防止等重点措置を8県に拡大することを決定。

### <開催決定通達以降の連盟と広島大学の対応>

#### ○開催決定の通達（7月18日）

- ・大会要項の中止判断基準の内容に反する結果となることのお詫びとともに、参加に当たっての注意事項を踏まえた上での最終的な参加可否の検討と、棄権する場合の広島大学への速やかな連絡を参加大学に依頼。

#### ○新型コロナウイルス感染防止対策方針の周知（7月26日）

- ・新型コロナウイルス感染に対する参加大学や参加者の遵守事項などを周知。

#### ○棄権連絡期限と健康チェックシートの周知（8月1日）

- ・新型コロナウイルスの感染状況や棄権大学の増加状況などによって開催の中止もありうること、連絡期限が8月4日17時までであること、開催可否の再判断は8月6日に決定することなどを周知。

#### ○棄権大学の集約（8月4日）

- ・現時点での棄権大学は9校となり参加大学数は50校に減少。
- ・棄権大学9校を反映した団体戦の予選リーグ組合せ、トーナメント、タイムテーブル、プログラムなどの見直し検討は現時点では未着手。

### <第61回大会の中止理由>

#### ○新型コロナウイルス感染のさらなる拡大・悪化

- ・感染力の強い変異ウイルス（デルタ株など）の猛威により現時点よりも第61回大会期間中にさらに拡大・悪化の可能性大。
- ・ワクチン接種率の低い20歳代である参加者への感染リスクの増大を懸念。

#### ○棄権大学の増加の可能性

- ・緊急事態宣言などの発令対象の拡大などにより、参加大学の許可基準などがより厳正化され、大会直前の棄権大学がさらに増加する可能性あり。

#### ○大会収支のさらなる悪化

- ・もともと参加者を制限して参加費が通常の大会に比べて大幅に減少することを想定した赤字を覚悟しての開催判断であったが、棄権大学の増加に伴い参加大学数や参加者数が減少したことにより大会収支の赤字額がさらに増加。
- ・現時点で開催した場合の大会単独収支の精査結果による赤字額は約150万円と算定。

#### ○広島大学の今後の負担増大

- ・大会開始までに約2週間しかない中で、新型コロナウイルス感染対応や棄権大学対応などにより主管校の広島大学の大会準備・運營業務量が大幅に増加。
- ・広島大学スタッフの開催意欲は旺盛ではあるものの、岡山県での開催であることなども考慮すると現実的にはかなり困難であると予想。

以上